

Rama yana

Where time wandering

Live Performane of Multimedia Computer

Music by Shigenobu Nakamura

| 音楽工房 freq | Live シリーズ No.2 |

ラーマヤナ — さまよえる時

中村滋延マルチメディア・コンピュータ音楽ライブ

作曲家・メディアアーティスト中村滋延が、東南アジア一帯に伝わるインド起源の叙事詩「ラーマヤナ」の世界を描く。

2006年の「ラーマヤナ—愛と死(交響曲第4番)」、2007年の「西洋楽器が奏でるラーマヤナの世界」に続く、「いのち」の表現の現在形。

プログラム(すべて新作初演)

① **Samsara** (転生)

映像付きコンピュータ音楽

② **Lamento** (哀歌)

ソプラノ, コンピュータ音響・映像のための

③ **Firework** (激情)

ヴァイオリン, コンピュータ音響・映像のための

④ **Impatience** (焦燥)

映像付きコンピュータ音楽

⑤ **Emotions** (喜怒哀楽)

ヴァイオリン, コンピュータ音響・映像のための

⑥ **Redemption** (救済)

ソプラノ, ヴァイオリン, コンピュータ音響・映像のための

出演

原田大志(ヴァイオリン)、持松朋世(ソプラノ)、檜垣智也(* アークスモニウム)

中村滋延(作曲・映像制作・コンピュータ操作)

* アークスモニウムとは、スピーカーのために作られた電子音響音楽(テープ音楽、ミュージック・コンクレート/アークスマティック、電子音楽など)をコンサートで発表するための多次元立体音響装置である。1974年にフランスの作曲家フランソワ・ベルが発案した。

コンサート空間に自由に配置された複数(通常は16個以上)のスピーカーを、ミキサー上のフェーダー操作することによって、様々な音響空間が自由に表現できる。

2008年11月14日[金] 19:00開演(18:30開場)

アクロス福岡 1階 円形ホール 入場料: 一般 3,000円, 学生 1,500円

市営地下鉄空港線「天神」駅 16 番出口

前売り: 九州大学生生活協同組合(大橋店, 六本松店, 箱崎理農店), キャンパスサポート西南ヤマハ福岡店(天神福岡ビル1階)

主催: 音楽工房 freq | 助成: (財) ローランド芸術文化振興財団

協力: 九州大学先導的デジタルコンテンツ創成支援ユニット, 西南学院大学国際文化学部

後援: 福岡市・福岡市教育委員会, (財) 西日本文化協会, (財) 福岡文化財団, 日本現代音楽協会, 日本音楽表現学会, 朝日新聞社, 西日本新聞社, 毎日新聞社, 読売新聞西部本社,

FBS福岡放送・九州朝日放送, 九州大学大学院芸術工学研究院

問い合わせ: 音楽工房 freq | 092-562-1425 | nkmrsgnb@gmail.com | <http://sound.jp/studiofreq/>